

ようこそ、有田川鉄道公園へ

公園入口では、まず「D51 1085」蒸気機関車がお出迎え。芝生広場を奥に進むと、有田川町の風景を再現したジオラマが人気の鉄道交流館と、プラットホームをイメージしたウッドデッキが目にとまります。

また、東西に延びる約400mの線路上では、往年の車両「キハ58003」「ハイモ180-101」「キテツ-1」が皆様のお越しをお待ちしております。



鉄道交流館



〇



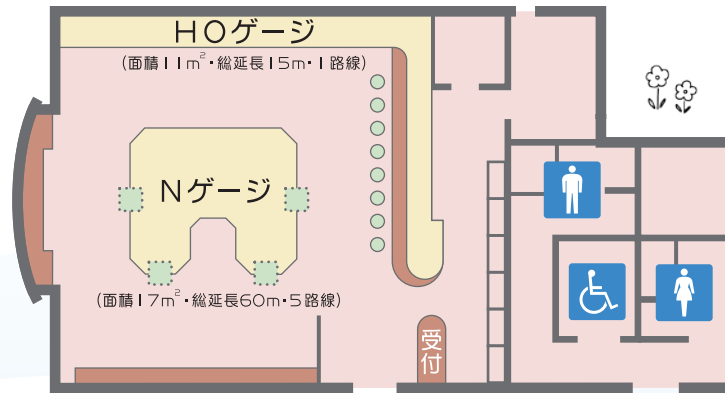
ジオラマ (Nゲージ)



絵本箱
なんです。



広々とした
芝生でのんびり♪



キハ58003

山梨県の富士急行より譲渡された車両で、同社が中央本線との直通用に投入した国鉄キハ58系のコピーである。国鉄にはなかった、製造時からの両運転台車(キハ58 003)があり、単行で営業運転ができたことから、有田鉄道では特にハイモ譲受前の主力として用いられた。なお、有田鉄道入線時にエンジン1台取り外しているため、実質はキハ28形相当の性能である。また、車籍なしとして他にもJRからキハ58を譲受しており、これは部品取り用としていた。

経歴上、国鉄所有となったことはまったくないが、客室天井に設置の扇風機にはJNRのマークがあるなど、国鉄車と同一の部品を多く使用している。また、座席指定用の席番表示プレートが側窓上ではなく、シート背ずりの上部に貼付されているなど、国鉄車とは細かい相違がある。



ハイモ180-101

岐阜県の樽見鉄道から譲渡されたレールバスで、富士重工がローカル線向けの軽快気動車として開発したLE-Car IIの初の実用車である。塗装変更等の整備を受け1994年5月21日から運行を開始した。車内は通路を挟んで逆向きに固定シートとロングシートが並んでいる。有田鉄道線初の冷房装備車両で、最末期の主力であった。

→「有田鉄道線」Flickr百科事典ウィキペディア日本語版(2009年10月24日 22:48 UTC) URL: https://ja.wikipedia.org/



キテツ-1

御坊市の紀州鉄道から兵庫県の北条鉄道から譲渡されたレールバスで、ハイモ180-101と同様に富士重工が開発したLE-Car IIシリーズの車両である。紀州鉄道では、2000年から運用を開始している。

2017年3月14日・午後9時、地域の方や鉄道愛好家に見送られながら紀伊御坊駅から搬出されたキテツ-1は、翌朝には有田川鉄道公園への搬入が完了し、紀州鉄道から有田川町へ車両が譲渡された。

